

# 図書館おすすめの本

～4歳から6歳向け～



加須市立図書館



# 図書館おすすめの本

～ 4歳から6歳向け～

加須市立図書館



## はじめに

加須市立図書館では、子どもたちがはじめて出会う本が素敵な本であってほしい、親子のコミュニケーションを深めながら楽しい経験を小さい頃からしてほしいという願いから、平成24年に赤ちゃん向けブックリスト「はじめての本」を作成しました。

小学生以上の読書案内は、「こどもとしょかんだより」などでも行っていますが、未就学児向けのおすすめ本を紹介するものがなかったため、今回4歳から6歳くらいの子どもたちを対象として、絵本や幼年童話を中心におすすめの本を54冊紹介するブックリストを作成しました。

対象年齢別に分けてありますが、実際には幅広い年齢の子どもに読まれている作品も多く、個々の読書レベルや興味関心の有無によっても異なりますので、年齢はあくまで目安として参考にしてください。

また、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、先生など、子どもは身近な人に本を読んでもらうのが大好きですし、多くの子どもたちにとって、図書館は、公共機関を自主的に利用する初めての体験であり、公共性を学ぶ場でもあります。

図書館には、このリストで紹介した本以外にも多くの絵本がありますので、是非お近くの図書館に足を運び、一緒に本を手にとり楽しんでください。

加須市立図書館

# 目次

はじめに	1
目次	2
凡例	3
<b>4 歳 向 け の 本</b>	
・かいじゅうたちのいるところ	4
・きよだいなきよだいな	4
・ぐるんぱのようちえん	4
・こすずめのぼうけん	5
・11ぴきのねこ	5
・しんせつなともだち	5
・そらいろのたね	6
・ちびゴリラのちびちび	6
・なにをたべてきたの？	6
・はじめてのおつかい	7
・はらぺこあおむし	7
・ラチとらいおん	7
<b>5 歳 向 け の 本</b>	
・いたずらきかんしゃちゅうちゅう	8
・おふろだいすき	8
・からすのパンやさん	8
・くんちゃんのだいらょこう	9
・すてきな三にんぐみ	9
・どうながのプレツェル	9
・ふしぎなナイフ	10
・ペレのあたらしいふく	10
・わゴムはどのくらいのびるかしら？	10
・ターちゃんペリカン	11
・いやいやえん	11
・おおきなおおきなおいも	11
<b>6 歳 向 け の 本</b>	
・おいしいのぼうけん	12
・おしゃべりなたまごやき	12
・かもさんおとおり	12
・げんきなマドレーヌ	13
・としょかんライオン	13
・よあけ	13
・ロバのシルベスターとまほうの小石	14
・よかったねネッドくん	14
・ちいさいおうち	14
・チムとゆうかなせんちょうさん	15
・みどりいろのたね	15
・はじめてのキャンプ	15

<b>昔話・民話の本</b>	
・ おおかみと七ひきのこやぎ	16
・ おだんごばん	16
・ 三びきのこぶた	16
・ てぶくろ	17
・ 3びきのくま	17
・ だいくとおにろく	17
・ ももたろう	18
・ うさぎのみみはなぜながい	18
・ かにむかし	18
・ おなかのかわ	19
<b>科学・知識の本</b>	
・ あげは	19
・ しずくのぼうけん	19
・ たんぽぽ	20
・ ふゆめがっしょうだん	20
・ あさがおさいた	20
・ ダンゴムシみつけたよ	21
・ ほんどのおおきさ・てがたあしがた図鑑	21
・ はがぬけたらどうするの？	21
<b>こちらもどうぞ</b>	22
<b>索引</b>	
書名索引	23
人名索引	24

### 凡例

1. このリストでは、加須市立図書館で所蔵している54冊の本について、書名などの書誌情報と簡単な内容を紹介しています。
2. 「こちらもどうぞ」のページでは、その他のおすすめの本を紹介しています。
3. 書名や人名の五十音順で本を探せる索引も後ろのページにあります。

## かいじゅうたちのいるところ

モーリス・センダック／さく， 富山房



いたずらを始めたマックスは、おおかみのぬいぐるみを着て家の中をおおあばれ。お母さんに怒られて、ごはん抜きで寝室にほうりこまれてしまいます。すると不思議なことが起きてマックスはかいじゅうたちのいるところにたどりつきます。

恐ろしくもどこか愛嬌のあるかいじゅうたちの様子が印象的です。

## きよだいなきよだいな

長谷川 摂子／作， 降矢 なな／絵， 福音館書店

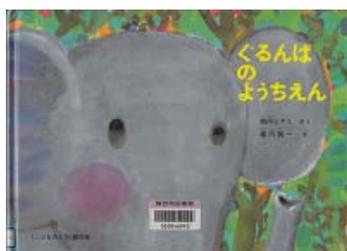


この絵本の中では、普通では考えられないほどきよだいな「もの」がいくつもでてきます。そこに100人の子どもがやってきて、みんないったい何をするのでしょうか？

言葉のリズムによってテンポよくすすむお話に、ページをめくるのが楽しくなります。

## ぐるんぱのようちえん

西内 みなみ／さく， 堀内 誠一／え， 福音館書店



ひとりぼっちで泣いていたぞうのぐるんぱは、他のぞうに体を洗ってもらいジャングルの外で働くことになりました。色々なお店で頑張ってみますが失敗ばかりで、追い出されてしょんぼりしてしまいます。

自分の居場所が見つからない悲しみと、それを見つけた時の喜びはいくつになっても同じです。

## こすずめのぼうけん



ルース・エインズワース／作，堀内 誠一／画，福音館書店  
おかあさんすずめに飛び方を教えてもらった  
こすずめは、はじめて自分の翼で巣から飛び立ちました。ひとりでどこまでも行けると喜んでいたのは最初だけで、飛ぶことに疲れてしまいました。

それから、休む場所を見つけるため、知らない鳥たちを訪ねてまわりますが、安心して休める場所はこの世にひとつだけでした。

## 11ぴきのねこ



馬場 のぼる／著，こぐま社

11ぴきののらねこたちはいつもお腹をすかせています。1匹の魚も11等分したら少しもお腹が膨れません。じいさんねこから湖に大きな魚がいることを教えてもらったねこたちは、お腹いっぱい食べるため、いかだを作って捕まえに出かけます。

ねこたちは大きな魚を捕まえて食べることができるでしょうか。

## しんせつなともだち



ファン イーチュン  
方 軼羣／作，君島 久子／訳，福音館書店

雪が降り続くある日のこと、食べるものに困ったこうさぎは雪山のなかを探しに出かけます。かぶを2つ見つけ、よろこんだこうさぎはそのうちの1つを友だちのろばの家に届けます。ろばも食べものに困っているだろうと思ったからです。

他人を思う気持ちがいつか自分に返ってくる、心が温まるお話です。

## そらいろのたね



中川 李枝子／さく，大村 百合子／え，福音館書店  
ゆうじが野原で模型飛行機を飛ばしていると、きつねがやってきて飛行機と空色の種を交換しました。ゆうじが庭に種をうめると空色の家が出てきてどんどん大きくなり、たくさんの子どもや動物が入れる大きさになりました。そこへきつねがやってきます。

「ぐりとぐら」の著者が描いた楽しい空想の世界を味わえる絵本です。

## ちびゴリラのちびちび



ルース・ボーンスタイン／さく，いわた みみ／やく，ほるぷ出版

大きな緑の森に、小さなかわいいゴリラのちびちびが住んでいました。お父さん、お母さんだけでなく、森にいる全ての動物たちが、ちびちびを大好きでした。

そんなある日、ちびちびが大きくなりはじめたのです。

動物たちがちびちびを大切にすることが、優しい色合いの絵から伝わってきます。

## なにをたべてきたの？



岸田 衿子／文，長野 博一／絵，佼成出版社

おなかがすいた白ぶたくんが、食べ物を探しにでかけます。

まずは、リンゴをパクリ。次は、レモン。1つ食べると、おなかにも果物の色が増えていきます。そして、最後に食べたのは、なんと石けん。おなかの中は大変なことになります。

おなかの中の色と大きく描かれた果物の絵が、とてもきれいな絵本です。

## はじめてのおつかい



筒井 頼子／さく，林 明子／え，福音館書店  
ある日、みいちゃんはお母さんからはじめてのおつかいを頼まれます。牛乳を買ってくるのです。みいちゃんは、百円玉を2つ握りしめて出かけますが、すごい速さの自転車とすれ違ったり転んでしまったりします。

みいちゃんの気持ちになってドキドキしながら読み進み、最後はホッとできる絵本です。

## はらぺこあおむし



エリック＝カール／さく，もり ひさし／やく，偕成社  
暖かい日曜日の朝、ちっぽけな卵からあおむしが生まれました。おなかですいたあおむしは、毎日いろいろな食べ物を食べて大きくなり、さなぎから蝶へと変わっていきます。

色鮮やかな絵とおいしそうなおおむしの絵が、子どもたちの気持ちをひきつけます。

## ラチとらいおん



マレーク・ベロニカ／ぶん・え，とくなが やすもと／やく，福音館書店

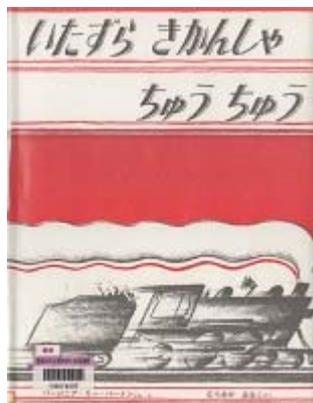
ラチは世界中で一番弱虫の男の子で、いつも仲間はずれにされて泣いていました。

ところがある朝、家に小さな赤いライオンが現れました。このライオンと一緒に過ごすうちに、ラチは暗いところも犬も平気になって強くなります。

どんどん強くなっていくラチの気持ちに寄り添いながら楽しむことができます。

## いたずらきかんしゃちゅうちゅう

バージニア・リー・バートン／ぶん・え，むらおか はなこ／やく，福音館書店



小さな機関車「ちゅうちゅう」は、ある日ひとりで走り出します。はじめは勢いよく走っていましたが、途中からは道もわからず、石炭も少なくなり、とうとう迷い込んだ古い線路で止まってしまいました。

モノトーンの絵の迫力とユニークな文字の配列で機関車の力強く走る感じがうまく表現されています。

## おふろだいすき

松岡 亨子／作，林 明子／絵，福音館書店

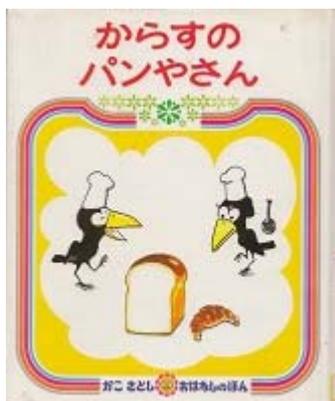


おふろが大好きな男の子があひるのおもちやのプッカとおふろに入ると、おふろの底から大きなかめが浮いてきました。ペンギン、オットセイ、かば、くじらもでてきて、楽しくおしゃべりしたり、一緒に体を洗ったり。

肩までつかって50数えるのだって、みんなでやればとってもゆかいです。

## からすのパンやさん

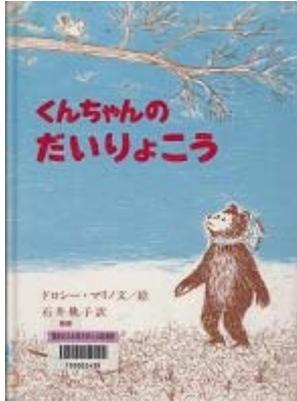
かこ さとし／絵・文，偕成社



いずみがもりのからすのパンやさんに4羽の赤ちゃんが生まれました。お父さんたちは、育児にお店にと大忙し。大きくなった子どもたちも手伝って、今日もたくさんパンを焼いています。

途中におもしろい形のパンがたくさん並んだページがあります。どのパンもおいしそうで、目移りしてしまいますよ。

## くんちゃんのだいいりょこう



ドロシー・マリノ／文・絵，石井 桃子／訳，岩波書店  
こぐまのくんちゃんは、冬ごもりを前に渡り鳥といっしょに南の国へ行ってみたくなりました。お父さんと帰り道の目印を覚えておく約束をすると、さっそく丘を駆け上ります。

丘のてっぺんで後ろを振り返ると忘れ物に気づきました。

戻っても、戻っても、てっぺんまで来るとやっぱり何か忘れ物があるのです。

## すてきな三にんぐみ



トミー＝アンゲラー／さく，いまえ よしとも／やく，偕成社

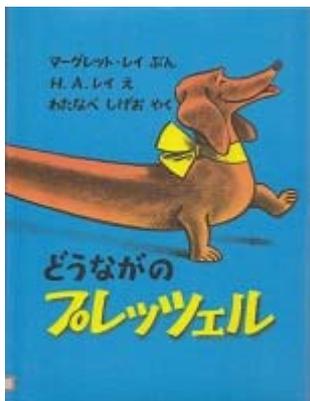
黒いマントに黒いぼうしの3人組の泥棒は、お宝集めに夢中でした。

奪った金銀、宝石は、山のてっぺんのかくれがに全部ためこんでいます。

ところがある晩、お宝の代わりに連れて帰った女の子の言葉をきっかけに、泥棒たちは宝の使い道を考えはじめるのです。

## どうながのプレツェル

マーグレット・レイ／ぶん，H・A・レイ／え，わたなべ しげお／やく，福音館書店



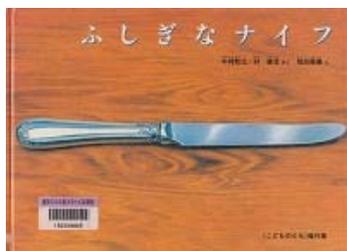
胴が長ければ長いほど立派なダックスフント。なかでもプレツェルは世界一胴長のダックスフントです。

ほかの犬も見物の人もみんなプレツェルに一目置いてくれるのに、大好きなグレタだけは知らん顔。

プレゼントを渡しても、特技を見せてもつれなかったグレタを振り向かせたのは…。

## ふしぎなナイフ

中村 牧江ノサク、林 健造ノサク、福田 隆義ノエ、福音館書店



ふしぎなナイフは、曲がったり、割れたり、解けたり、膨らんだりします。

その様子が見開きのページを使って大きく描かれています。

ページをめくる度に次々にナイフが変化していくのでテンポ良く楽しめます。

子どもだけでなく大人の頭もやわらかくする不思議な世界を、ぜひ読んでみてください。

## ペレのあたらしいふく

エルサ・ベスコフノサク・エ、おのでら ゆりこノヤク、福音館書店



ペレはこひつじを1匹飼っていましたが、体が大きくなり服が小さくなってしまったペレは、ひつじの毛を使って新しい服を作ることにしました。まず、おばあちゃんにひつじの毛をすいてもらおうとお願いしに行き、おばあちゃんから牛の番を頼まれます。たくさんの人にお願いしに行き、頼まれごとを済まし、ペレの新しい服はようやく完成します。

## わゴムはどのくらいのびるかしら？

マイク・サーラーノブン、ジェリー・ジョイナーノエ、きしだ えりこノヤク、ほるぷ出版



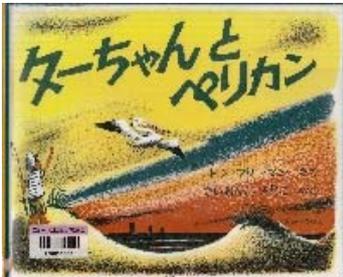
ある日、ぼうやは輪ゴムがどのくらい伸びるか試してみることにしました。

輪ゴムの端をベッドの枠に引っかけて、どんどん伸ばしていきます。部屋から外へ行き、自転車、バス、汽車、飛行機、船、さらにはロケットに乗って伸ばしていきます。

子どもの豊かな想像力を膨らませる楽しい絵本です。

## ターちゃんと呼リカン

ドン・フリーマン／さく，さいおんじ さちこ／やく，ほるぷ出版



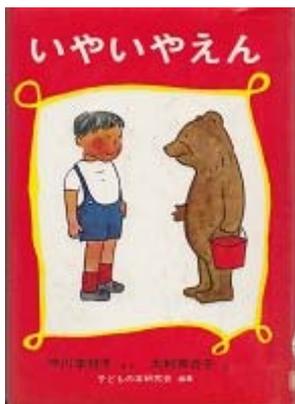
夏休みにキャンプに来たターちゃんは、去年会った呼リカンと一緒に、初めて魚釣りに挑戦します。ところが、呼リカンを待っている間に長靴が波にさらわれてしまい、片方無くなってしまいました。

でも、帰る途中で呼リカンが無くなった長靴を見つけて持ってきてくれて…。

男の子と呼リカンの心温まるお話です。

## いやいやえん

中川 李枝子／さく，大村 百合子／え，子どもの本研究会／編集，福音館書店

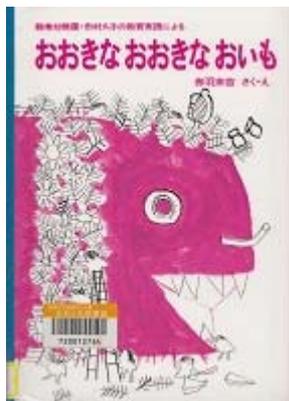


ちゅーりっぷ保育園にしげるという男の子がいました。その保育園にはくまの子どもが遊びにきたり、しげる自身が森のおおかみに狙われてしまったりと、いろいろなことが起こります。

ある時しげるが「いやだい」「いやだい」と言っていると、お母さんに「いやいやえん」に連れて行かれます。元気いっぱいわがままなしげるのお話です。

## おおきなおおきなおも

赤羽 末吉／さく・え，福音館書店



あおぞら幼稚園のいもほり遠足が雨で1週間延期になってしまいました。残念がっていた子どもたちでしたが、おもは待てば待つほど、どんどん大きくなるという話になります。

そして、どのくらい大きくなるか、おもいの絵を描くことにしました。

子どもたちの想像力豊かなお話です。

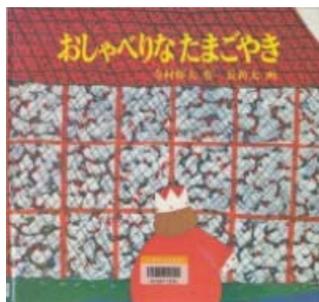
## おしれのぼうけん



ふるた たるひ／さく，たばた せいいち／[画]，童心社  
さくら保育園の昼寝の時間。あきらとたけしはミニカーの取りっこをし、先生におしれに入れられました。そこに人形劇に登場するねずみばあさんとたくさんのねずみが出てきて、2人は手を取ってトンネルから高速道路へ逃げ出します。

別世界での2人の活躍が、力強い鉛筆画で描かれ引き込まれます。

## おしゃべりなたまごやき



寺村 輝夫／作，長 新太／画，福音館書店

たまごやきの大好きな王さまは、散歩の時、小屋にぎゅうぎゅう詰めのにわとりがいるのを見て同情し、カギのついた戸を開けてやると、みんな飛び出し城じゅう大騒ぎ。犯人捜しが始まります。王さまは、カギを捨てたのを見ためんどりに内緒にするように言い聞かせますが、夕食の目玉焼きから王さまの声が…。姉妹編に「ぞうのたまごのたまごやき」があります。

## かもさんおとおり



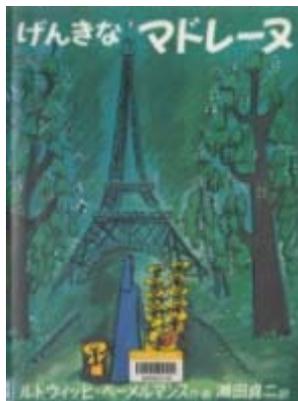
ロバート・マックロスキー／ぶん・え，わたなべ しげお／やく，福音館書店

かもの夫婦は、巣を作る場所を探して公園に来ますが、危険な目にあって近くの島でひなをかえします。やがて奥さんは、ひと足先に行った旦那さんの待つ公園へ8羽のこがもとお引越し。自動車に妨げられて通れないかもの親子を、おまわりさんが交通整理をして通します。

セピア一色のコンテはやわらかいタッチで心温まる話です。1942年コルデコット賞受賞。

## げんきなマドレーヌ

ルドウィッヒ・ベームルマンズ／作・画，瀬田 貞二／訳，福音館書店



パリの寄宿学校に、12人の女の子が先生と住んでいて、一番おちびさんのマドレーヌは、いつも元気で怖いものなし。ある晩マドレーヌは大泣きして盲腸炎で入院します。見舞いに行った女の子達はマドレーヌがうらやましく、その晩、自分も盲腸だと泣きます。子ども達の表情がユーモラスに、各場面パリの街並みが美しく描かれています。続編「マドレーヌといぬ」などがあります。

## としょかんライオン

ミシェル・ヌードセン／さく，ケビン・ホークス／え，福本 友美子／やく，岩崎書店



ある日、ライオンが図書館に入ってきました。驚いた図書館員が館長へ報告すると、館長は静かにするきまりを守るなら入ってもよいと許します。ライオンは、お話しの時間に子ども達と絵本を聞いたり図書館の仕事を手伝ったりして、みんなと仲良くなります。

表情豊かなライオンが、館長が倒れた時、大声で吠える姿は迫力満点です。

## よあけ

ユリー・シュルヴィッツ／作・画，瀬田 貞二／訳，福音館書店



夜、おじいさんと孫が、湖の木の下で眠ります。鳥が鳴き、ボートで湖にこぎ出すと、夜明けを迎えます。藍色を基調とした水彩画で、月に照らされた湖畔の風景が描かれています。静かな湖に、動き始めた生きものやオール音が響く様子が、詩的な文章でつづられています。

最後の色彩豊かな夜明けの場面は、目を見はるような美しさです。

## ロバのシルベスターとまほうの小石



ウィリアム・スタイグ／さく， せた ていじ／やく， 評論社  
ある日、ロバのシルベスターは森で願いがかなう赤い石を見つけました。家に帰る途中ライオンに会ったのでとっさに「岩になりたい」と言うと元の姿に戻れなくなってしまいました。お父さんとお母さんはシルベスターを探しましたが見つけることはできません。

1970年コルデコット賞受賞。長い間世界の子どもたちに愛され続けている絵本です。

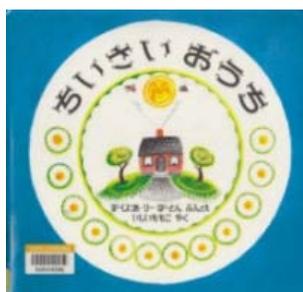
## よかったねネッドくん



レミー・シャーリップ／さく， やぎた よしこ／やく， 偕成社  
びっくりパーティーに招待されたネッドくん。パーティー会場のあるフロリダをめざして出発しますが次から次へと色々な出来事が起こります。ネッドくんは無事、パーティー会場に着くことができるのでしょうか。

あっと驚く奇想天外な出来事にきっとハラハラ、ドキドキすることでしょう。

## ちいさいおうち



バージニア・リー・バートン／ぶん， いい ももこ／訳， 岩波書店  
ちいさいおうちは、静かな田舎の町で自然に囲まれて幸せにすごしていました。しかし大きなビルが建ち、電車が通り町がだんだん発展していくと、むかしを懐かしく思うようになりました。

自然の大切さや人間の生活の移り変わる姿を、美しい動きのある絵で描いています。

1943年コルデコット賞受賞。

## チムとゆうかなせんちょうさん

エドワード・アーディゾーニ／さく，せた ていじ／やく，福音館書店

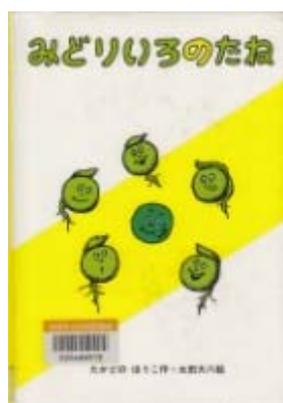


船乗りに憧れていたチムは、ある日、隠れて船に乗り込みました。船長に見つかり、叱られ、仕事を命じられますが一生懸命働くうちに船員たちにもかわいがられるようになります。

ところがある日、嵐がきて船が座礁してしまいます。

チムと船長の荒波との戦いや、絶体絶命を覚悟した時の描写は迫力があります。

## みどりいろのたね



たかどの ほうこ／作，太田 大八／絵，福音館書店  
クラスで緑色の種をまいている時、まあちゃんはうっかりなめていたあめも一緒にまいてしまいました。土の中で種とあめは大ゲンカ。

でも、最後には甘くておいしいえんどう豆が採れました。

挿絵の種とあめの表情がユーモラスに描かれていて、子ども達の想像力をふくらませる幼年童話です。

## はじめてのキャンプ



林 明子／さく・え，福音館書店

小さいなほちゃんは大きい子どもたちと一緒にキャンプに連れて行ってもらいました。そこで、なほちゃんは薪を拾いに行くなど、はじめての経験をたくさんします。主人公が戸惑いながらもキャンプを通して成長する姿が描かれています。

特に夜の場面の挿絵は主人公の感情をより一層引き立たせます。

## おおかみと七ひきのこやぎ

フェリクス・ホフマン／ぶん・え， せたていじ／やく， 福音館書店

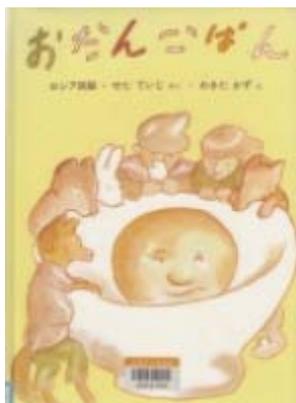


おかあさんやぎが出かけたので、子やぎたちはお留守番。そこへお母さんやぎのふりをしたおおかみがやって来て、6匹の子やぎが食べられてしまったから、さあ大変。

お母さんやぎと末の子やぎは、なんとか子やぎ達を助け、おおかみをこらしめようと考えます。母やぎの知恵でおおかみをやりこめる場面は胸がすくようです。

## おだんごぱん

瀬田 貞二／訳， 脇田 和／絵， 福音館書店



おばあさんがおだんごぱんを焼きました。ほかほかでとってもおいしそう。

おじいさんに食べられる前に、おだんごぱんはころころ家の外へ逃げ出しました。うさぎからもおおかみからも逃げてどこまでも転がります。

おだんごぱんの冒険はどこまで続くのでしょうか？

## 三びきのこぶた

山田 三郎／絵， 瀬田 貞二／訳， 福音館書店



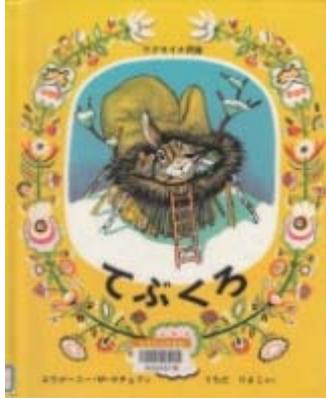
お母さんぶたと離れ、一人暮らしをはじめた3びきのこぶた。1番目と2番目のこぶたはおおかみに家を吹き飛ばされ、食べられてしまいます。

3番目のこぶたはレンガで頑丈な家を造ったり、おおかみのうそを見破ったり、逆におおかみを驚かせて大反撃。

こぶたが知恵を武器に、ずるがしこいおおかみの一枚上をいく痛快なお話です。

## てぶくろ

エウゲーニー・M・ラチョフ／え，うちだ りさこ／やく，福音館書店



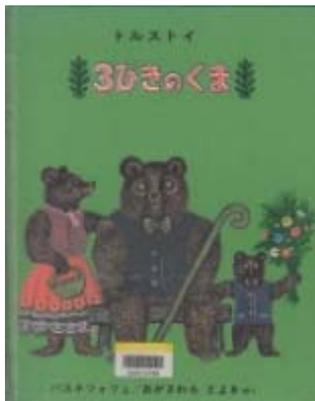
雪が降る森に、てぶくろが落ちていました。ねずみがやってきてその中で暮らすことにしました。

すると、うさぎやきつね、大きなくままで「わたしもてぶくろに入れて」と言って入り込み、てぶくろはぎゅうぎゅう、でもとても暖かそう。

動物たちのにぎやかな様子がほほえましく、ぬくもりが伝わるお話です。

## 3びきのくま

トルストイ／ぶん，バスネツォフ／絵，おがさわら とよき／やく，福音館書店



森へ遊びにいった女の子が道に迷っていると小さな家を見つけました。だれもいないので女の子は食卓のスープを飲んだり、いすをゆらゆらさせて遊んだりやりたい放題。

でも、ここはくま一家の家だったのです。帰ってきたくま達は家の中の様子にびっくり。

女の子の無邪気な様子が微笑ましいお話です。

## だいくとおにろく

松居 直／再話，赤羽 末吉／画，福音館書店

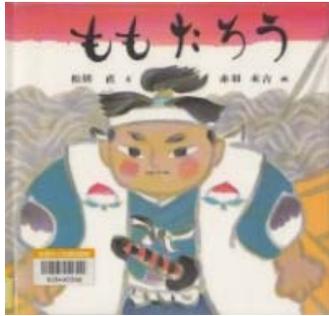


ある大工が村人たちから、頑丈な橋をかけてほしいと頼まれました。大工がその川へ行くと、鬼が現れて目玉を差し出せば、橋をかけてやると言います。

いい加減な返事をして橋をかけてもらいますが、目玉を渡すわけにはいきません。

鬼と大工のスリリングなやり取りが楽しいお話です。

## ももたろう



まつい ただし／ぶん，あかば すえきち／え，福音館書店  
おばあさんが川で拾った大きな桃から生まれたももたろうは、おじいさんおばあさんにかわいがられて成長しました。やがて鬼退治へ出かけたももたろうは、いぬ・さる・きじとともに姫を鬼から助け出します。

素朴でリズムカルな語り口は耳に心地よく響き、美しい日本画調の絵は日本の昔話の雰囲気ぴったりです。

## うさぎのみみはなぜながい

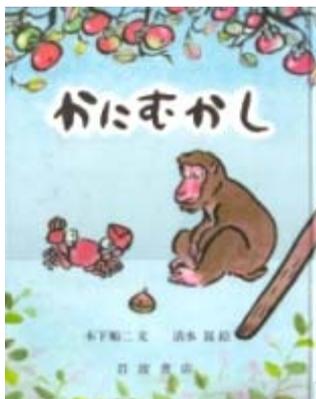


北川 民次／ぶんとえ，福音館書店

うさぎが自分たちの体を大きくしてほしいと神様に頼むと、とら・わに・さるを殺して皮を持ってくるよう言われました。その通りにすると、小さくてもそれだけのことができるのだからと、神様に耳だけ大きくされて帰されます。

メキシコの昔話で、地味ながら力強い絵が子どもをひきつける絵本です。

## かにむかし



木下 順二／文，清水 崑／絵，岩波書店

種から大事に育てた柿の実がとれず、かにが困っていたところにさるがやって来ました。さるは柿を食べたうえ、青い柿をかんにぶつけて殺してしまいました。親を殺された子がにたちは成長すると栗・はち・牛のふん・はぜぼう・石うすと一緒にあだ討ちに出かけます。

劇作家と漫画家の手によるのびやかな雰囲気の中の日本の昔話です。

## おなかのかわ



瀬田 貞二／再話，村山 知義／画，福音館書店

おうむはねこを食事に招待しますが、ねこは出された食事では足らず、おうむ、おばあさん、ろば、王様の行列など出会ったものを次々にのみ込んでいきます。

食べられるはずのないものまでねこが「ぺろりごくん」と次々のみ込んでしまうくり返しに、子どもは目を丸くし、話の展開を楽しみます。

## あげは



小林 勇／ぶん・え，福音館書店

あげはが卵を産むところから始まり、卵からかえった幼虫が脱皮をくり返して大きくなり、蝶になる様子を描いた絵本です。

黒く小さな幼虫の様子や、口から出した糸で体をつなぎとめてさなぎになる過程など、飛んでいる姿を見かけるだけでは観察できないあげはの姿がよくわかります。

## しずくのぼうけん

マリア・テルリコフスカノサク，うちだ りさこノヤク，ボフダン・ブテンコノ絵，福音館書店



バケツから飛び出した水のひとしずくが、空で雲の一部になったり、雨となったり、川やつららに変化したりしながら冒険する様子を描いた本です。

まんがのような絵で擬人化されたしずくの姿は親しみやすく、文章もリズムカルで、読者はしずくと一緒にあちらこちらを旅するような気分を楽しめます。

## たんぽぽ



平山 和子／ぶん・え，北村 四郎／監修，福音館書店  
あちこちで咲いている身近なたんぽぽの根がとて長く生命力が強い事や小さな花が集まっていることなど、視覚的にわかりやすい絵で説明されています。

他にも、夕方や天気の悪い日には閉じることや、一度倒れて綿毛になるときに再び起き上がり高く伸びることなど、たんぽぽの不思議がよくわかる一冊です。

## ふゆめがっしょうだん



富成 忠夫／写真，茂木 透／写真，長 新太／文，福音館書店

冬は、花も葉もなくなったさびしい感じがする季節ですが、春が来るのが待ち遠しいのは、人間だけでなく、動物も植物も同じです。

動物などの顔に見えるような冬芽の拡大写真とリズムカルな詩で、身近な自然観察のきっかけを与えてくれる写真科学絵本です。

巻末では冬芽の木の名前もわかります。

## あさがおさいた

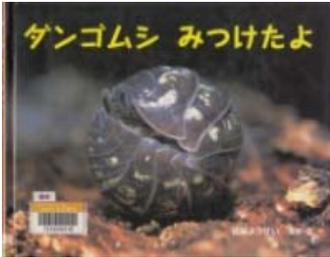


大久保 茂徳／監修，片野 隆司／写真撮影，ひさかたチャイルド

この本は、あさがおの種をまくところから、芽が出て、つるが伸び、花が咲いて、種ができるまでを大きな写真で紹介しています。

本の中の時間は経過がゆっくりなため、じっくり観察することもでき、あさがおのつるが一定の方向にしか巻かないことなど、大人向けに書かれている豆知識も参考になります。

## ダンゴムシみつけたよ



皆越 ようせい／写真・文，ポプラ社

庭や近所の公園などにいるダンゴムシは小さく、捕まえても生態がよくわかりません。

でも、この絵本は、大きな写真で紹介していて、ダンゴムシが生まれてから死ぬまでの様子がよく分かります。身近なダンゴムシがより身近になる本です。

図書館には、大迫力の大型絵本版もあります。

## ほんのおおきさ・てがたあしがた図鑑



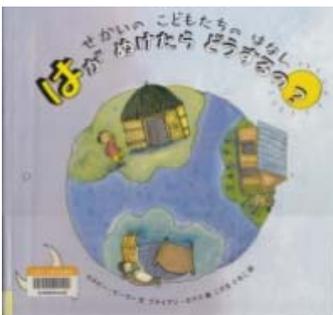
小宮 輝之／著，学研教育出版

動物園でよく見る67種類の動物の手がたや足がたの写真に、特徴や機能が解説されていて、動物のくらしが見えてきます。自分たちが赤ちゃんの時に取った手がたや、今の手の大きさなどと比べてみるのも楽しいです。

このシリーズは、動物がずっと近寄った大きさで見えて、新しい発見もたくさんあります。

## はがぬけたらどうするの？

セルビー・ビーラー／文，ブライアン・カラス／絵，こだま ともこ／訳，石川 烈／監修，フレーベル館



最近では抜けた乳歯を大事にとっておく方も多いますが、みなさんは抜けた歯をどうしましたか？

世界には、まくらの下に入れて、お金やプレゼントに換えてもらう風習などもあります。日本と同じような風習の他、国や地域、民族によって少しずつ違う風習があることが、この本を読むとわかります。

こちらどうぞ

## <おはなし>

### ・子どもに語る日本の昔話 1～3

稲田 和子／著，筒井 悦子／著，こぐま社

### ・子どもに語るグリムの昔話 1～6

グリム／[著]，佐々 梨代子／訳，野村 法／訳，こぐま社

### ・おはなしのろうそく(シリーズ多数)

東京子ども図書館／編，東京子ども図書館

挿絵はありませんが、語りやすい形になったおはなし集です。

おはなし会では、ストーリーテリングといい、覚えて語りますが、夜寝る前のおはなしとして読んであげてはいかがでしょうか。

## <わらべうた>

### ・もちっこやいて

やぎゆう げんいちろう／さく，福音館書店

### ・子どもとお母さんのあそびうたえほん

小林 衛巳子／編，大島 妙子／絵，のら書店

わらべうたは、一緒に歌うと大人も子どもも楽しくなります。

「子どもとお母さんのあそびうたえほん」は「あかちゃんとお母さんのあそびうたえほん」の続編で、3歳から5歳児向けです。

## <詩集>

### ・パタポン①② 幼い子の詩集

田中 和雄／編，童話屋

わらべうたのような一見簡単な詩だからこそ、心にしみる名詩が生まれます。親子で読むだけでなく、歌にしたり、言葉遊びにしてみたり、一緒に楽しんでみてはいかがでしょうか？

## 索引

書名索引（※内容を紹介している54冊についての索引です。）

### あ行

- ・あげは 19
- ・あさがおさいた 20
- ・いたずらきかんしゃちゅうちゅう 8
- ・いやいやえん 11
- ・うさぎのみみはなぜながい 18
- ・おおかみと七ひきのこやぎ 16
- ・おおきなおおきなおいも 11
- ・おいしいのぼうけん 12
- ・おしゃべりなたまごやき 12
- ・おだんごぱん 16
- ・おなかのかわ 19
- ・おふろだいすき 8

### か行

- ・かいじゅうたちのいるところ 4
- ・かにむかし 18
- ・かもさんおとおり 12
- ・からすのパンやさん 8
- ・きよだいなきよだいな 4
- ・ぐるんぱのようちえん 4
- ・くんちゃんのだいいりょう 9
- ・げんきなマドレーヌ 13
- ・こすずめのぼうけん 5

### さ行

- ・3びきのくま 17
- ・三びきのこぶた 16
- ・しずくのぼうけん 19
- ・11びきのねこ 5
- ・しんせつなともだち 5
- ・すてきな三にんぐみ 9
- ・そらいろのたね 6

### た行

- ・ターちゃんとペリカン 11
- ・だいくとおにろく 17
- ・ダンゴムシみつけたよ 21
- ・たんぼぼ 20
- ・ちいさいおうち 14
- ・ちびゴリラのちびちび 6
- ・チムとゆうかなせんちょうさん 15
- ・てぶくろ 17
- ・どうながのプレッツェル 9
- ・としょかんライオン 13

### な行

- ・なにをたべてきたの？ 6

### は行

- ・はがぬけたらどうするの？ 21
- ・はじめてのおつかい 7
- ・はじめてのキャンプ 15
- ・はらぺこあおむし 7
- ・ふしぎなナイフ 10
- ・ふゆめがっしょうだん 20
- ・ペレのあたらしいふく 10
- ・ほんとのおおきさ・てがたあしがた図鑑 21

### ま行

- ・みどりいろのたね 15
- ・ももたろう 18

### や行

- ・よあけ 13
- ・よかったねネッドくん 14

### ら行

- ・ラチとらいおん 7
- ・ロバのシルベスターとまほうの小石 14

### わ行

- ・わゴムはどのくらいのびるかしら？ 10

人名索引 (※外国の著者等については姓・名の順になっています。)

<b>あ行</b>		シャーリップ, レミー	14
アーディゾーニ, エドワード	15	シュルヴィッツ, ユリー	13
赤羽 末吉(あかば すえきち)	11,17,18	ジョイナー, ジェリー	10
アンゲラー, トミー		スタイグ, ウィリアム	14
→ウンゲラー, トミー		セーラー, マイク	
石井 桃子(いしい ももこ)	9,14	→セイラー, マイク	
石川 烈(いしかわ いさお)	21	セイラー, マイク	10
いまえ よしとも	9	瀬田 貞二(せた ていじ)	13,14,15,16,19
いわた みみ	6	センダック, モーリス	4
うちだ りさこ	17,19	<b>た行</b>	
ウンゲラー, トミー	9	たかどの ほうこ	15
エインズワース, ルース		たばた せいいち	12
→エインワース, ルース		長 新太(ちよう しんた)	12,20
エインワース, ルース	5	筒井 頼子(つつい よりこ)	7
大久保 茂徳(おおくぼ しげのり)	20	寺村 輝夫(てらむら てるお)	12
太田 大八(おおた だいはち)	15	テルリコフスカ, マリア	19
大村 百合子(おおむら ゆりこ)	6,11	とくなが やすもと	7
おがさわら とよき	17	富成 忠夫(とみなり ただお)	20
おのでら ゆりこ	10	トルストイ, レフ・ニコラエヴィチ	17
<b>か行</b>		<b>な行</b>	
かこ さとし	8	中川 李枝子(なかがわ りえこ)	6,11
片野 隆司(かたの たかし)	20	長野 博一(ながの ひろかず)	6
カラス, G.ブライアン	21	中村 牧江(なかむら まきえ)	10
カール, エリック	7	西内 みなみ(にしうち みなみ)	4
岸田 衿子(きしだ えりこ)	6,10	ヌードセン, ミシェル	13
北川 民次(きたがわ たみじ)	18	<b>は行</b>	
北村 四郎(きたむら しろう)	20	バスネツオフ, ユーリー	
木下 順二(きのした じゅんじ)	18	→ワスネツオフ, ユーリー	
君島 久子(きみしま ひさこ)	5	長谷川 撰子(はせがわ せつこ)	4
こだま ともこ	21	バートン, バージニア・リー	
小林 勇(こばやし いさむ)	19	→バートン, ヴァージニア・リー	
小宮 輝之(こみや てるゆき)	21	バートン, ヴァージニア・リー	8,14
<b>さ行</b>		馬場 のぼる(ばば のぼる)	5
さいおんじ さちこ	11	林 明子(はやし あきこ)	7,8,15
清水 崑(しみず こん)	18	林 健造(はやし けんぞう)	10

※外国人名のカタカナ表記には、異なる表記があるため、「→」の形に統一しています。

ビーラー, セルビー B.	21
平山 和子(ひらやま かずこ)	20
方 軼羣(ファン, イーチュン )	5
福田 隆義(ふくだ たかよし)	10
福本 友美子(ふくもと ゆみこ)	13
ブテンコ, ボフダン	19
フリーマン, ドン	11
降矢 なな(ふりや なな)	4
ふるた たるひ	12
ベーメルマンズ, ルドウィツヒ	13
ベスコフ, エルサ	10
ホークス, ケビン	13
ボーンスタイン, ルース	6
ホフマン, フェリクス	16
堀内 誠一(ほりうち せいいち)	4,5
<b>ま行</b>	
松居 直(まつい ただし)	17,18
松岡 亨子(まつおか きょうこ)	8
マックロスキー, ロバート	12
マリノ, ドロシー	9
マレーク, ベロニカ	7
皆越 ようせい(みなごし ようせい)	21
むらおか はなこ	8
村山 知義(むらやま ともよし)	19
茂木 透(もぎ とおる)	20
もり ひさし	7
<b>や行</b>	
やぎた よしこ	14
山田 三郎(やまだ さぶろう)	16
ら行	
ラチョフ, エフゲーニ・ミハイロヴィチ	17
レイ, H. A.	9
レイ, マーグレット E.	9
<b>わ行</b>	
脇田 和(わきた かず)	16
ワスネツォフ, ユーリー	17
わたなべ しげお	9,12

図書館おすすめの本

～ 4 歳から 6 歳向け～

平成 2 9 年 6 月 1 日発行

編集・発行 加須市立図書館

・ 加須図書館

加須市中央 2-4-17

TEL:0480-61-8200

・ 騎西図書館

加須市根古屋 633-10

TEL:0480-73-3178

・ 北川辺図書館

加須市麦倉 1473-1

TEL:0280-62-4400

・ 童謡のふる里おおとね図書館

加須市琴寄 597-1

TEL:0480-78-2211

URL:<http://www.library.kazo.saitama.jp/>

E-mail:[tosho@city.kazo.lg.jp](mailto:tosho@city.kazo.lg.jp)

© Kazo City Library 2017



